

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	山岸和幸
	全体計画			経費区分	経常的経費	内線	3326
事務事業名	4094 老人ホーム措置事業						
所 属	100300 健康福祉部・高齢者福祉課						
施 策	01020400 高齢者福祉の充実						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	030104 民生費・社会福祉費・老人措置費					
	事業	010000 老人ホーム措置事業					
事業目的				事業概要・効果			
老人ホーム入所者の適切な措置と効率的な事務執行を図る。				老人ホーム措置に係る措置費を支給。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
環境上の事情・経済的な事情等により居宅において養護を受けることが困難な須坂市内の高齢者の入所措置を行った。	環境上の事情・経済的な事情等により居宅において養護を受けることが困難な須坂市内の高齢者の入所措置を行った。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
環境上の事情・経済的な事情等により居宅において養護を受けることが困難な須坂市内の高齢者の入所措置を行った。	環境上の事情・経済的な事情等により居宅において養護を受けることが困難な須坂市内の高齢者の入所措置を行った。
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
環境上の事情・経済的な事情等により居宅において養護を受けることが困難な須坂市内の高齢者の入所措置を行った。	環境上の事情・経済的な事情等により居宅において養護を受けることが困難な須坂市内の高齢者の入所措置を行う。

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由	指標を測定する方法がないため					
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		69,877	81,213
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	19,991	18,600
一般財源		49,886	62,613
人員数 (人)	正規職員	0.5	0.5
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	3,632.5	3,632.5
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,632.5	3,632.5
市民一人当たりの経費		1.4	1.6
総額		73,509.5	84,845.5

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	10	消耗品費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	69,867	養護老人ホーム入所措置費等

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	4	消耗品費
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	81,209	養護老人ホーム入所措置費等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 環境上の事情・経済上の事情により居宅において養護を受けることが困難な市内の高齢者の入居措置を行う。 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 入所を必要とする高齢者が施設へ措置入所することにより、安定した生活を送ることができる。 	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 措置入所者から規則で決められている本人費用の徴収を行っている。 	

振り返り（決算年度の取組み課題）

・養護老人ホーム及び特別養護老人ホームへの措置入所を行い、措置入所者の生活の安定を図った。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
福祉事務所が老人福祉法の規定に基づきおこなう措置事業であるため。		措置入所者については、今後減少は見込めない。法に基づき対象者の生活を確保していく	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	